

留 学 報 告 書

令和 7 年 6 月 30 日

学 部 生物資源科学部 学科・課程 生命科学科

氏 名 川西 匠

1. 留学先大学・学部 国名 アメリカ合衆国

大学名 フロリダ大学

現地到着日 (2024年 8月 18日)

授業開始日 (2024年 8月 23日)

現地出発日 (2024年 5月 8日)

授業終了日 (2025年 4月 29日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

・5月～渡航まで、フロリダ大学の交換学生専用のWebサイトで個人情報の登録、資金証明（残高証明）、ワクチン接種証明（はしかなど）、寮の予約（遅い）、DS-2019を持って大阪にビザの申請（簡単）など

・3月から休学してアルバイトと貸与奨学金の申請、国際免許取得

3. 自宅から留学先大学までの交通手段（乗物の種類、乗り換え地、所要時間）

松江→東京 夜行バス12時間

東京(成田)→ハワイ(ホノルル) ZIPAIR7時間 トランジット12時間

ハワイ→サンディエゴ(カリフォルニア) アラスカ航空 5時間 トランジット12時間

サンディエゴ→オーランド(フロリダ) アラスカ航空 4時間 トランジット12時間

オーランド→ゲインズビル 高速バス 3時間 そして、寮

まだ元気があり、同じく留学する友達と一緒にだったので良かったです、長時間の移動はきつかったです。

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

寮のあるエリアのオフィスに鍵を受け取りに行く。授業の履修登録(すでに埋まっているものもあり。)

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

授業開始日前にキャンパスツアーと国際課から留学生向けに説明会もありました。外国人学生向けのイベントもメールで通知されたので行きました。テストのようなものは受けませんでした。

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

CanvasというMoodleのようなサイトを基本的に使います。まず、シラバスのテストやレポートの盗作防止の勉強、教科書やアプリケーションなどの購入を求められます。授業は一つ3単位で週に3回、各50分です。どの授業も座学、オンラインのクイズ、レポート、グループワーク、ペアワークがあります。簡単といわれる授業を取っていましたが、やらないといけないことは山ほどありますし、どこに何があるのか、どれを優先すべきか分からないほどです。全て把握して期限内に終わらせることは困難でした。日本の大学(島根大学)とは訳が違いました。試験は全三回あるものが多かったです。オンラインだったり、夜あったりするの
で日時を忘れないようにしてください。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

英語の授業を受けることができれば、それが一番役に立つと思いますが、日本で言う国語です。留学生用ではありません。日本にいるときに渡航まででしっかり勉強を継続しておくことをお勧めします。専攻が海洋生物なのでダイビングのクラスを取りたかったですが、すでに埋まっていた(泣)。春学期に受けたもので週に一回出ればいいStatisticsという統計の授業は身になりました。他の授業に比べてシンプルな授業形態です。専用のノートを買って、オンラインの授業で板書を取ります。統計は島大にも当然ありますが、英語の方が分かりやすいです。多くの学問は欧米の国で生み出されますし、統計のようなものは特に英語で勉強した方が良いと思いました。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

Weaver hallという寮の3階でルームメイトと二人部屋でした。ルームメイトが車で買い出しを手伝ってくれた事や彼の料理道具やお米を使えたことは良かったですが、パーソナルなスペースが全くなく、夜まで結構騒がしいので一人部屋にしても良かったかなと思いました。寮はキッチンが階に一つありますが、コンロとレンジとオーブンだけです。冷蔵庫などは自分で買わないといけませんでした。後はシャワーがちょろち

よろしか出ないです。しかし、立地は良いですし、私自身友達も寮でできたのでお勧めです。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、
（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

寮は授業開始の3日ぐらい前に入りました。鍵をなくすと面倒なので、無くさないようにしてください。

春休みに寮が閉められます。滞在は実質可能ですが、建物に入る電子キーが使えなくなるので、どうにかして入り口を作らないといけませんでした。春学期の末もすぐに閉まるので、計画的に帰国のスケジュールを考えていた方が良いでしょう。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等）

ゆうちょ銀行と合銀はスマホから振り込みの操作ができます。ただ、国際送金は高いので、日本のネット

口座に振り込むことで使えるWISEという便利なデビットカードを日本で作っていました。でも結局、向こうの寮の家賃は銀行振り込みにしないと手数料が高いので、口座開設しました。

11. キャンパス案内（どんなとき、どこへ行けばよいか等）

キャンパスの中心にlanguage studioという場所があります。毎週、月曜日と木曜日に日本語の会話テーブルがあります。行ってみるといいと思います。

12. 現地案内（買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子）

キャンパスにReitz Unionという大きな建物があります。レストランから理髪店、ブックストアや銀行もあります。そこの理髪店で3回くらい髪を切ってもらいました。2000円ちょっとくらいで、悪くなかったの
でおすすめです。レストランはPanda Expressという中華系のものがあります、Teriyakiというトッピング
が美味しかったです。Subwayも良く行っていました。大学の前にあるベトナム料理屋さんもお気に入りでした。

13. 失敗談（どんな小さなことでも）

まず慣れない環境で失敗するのは当たり前なので、失敗を恐れないでほしいです。自分のペースでいることも大切ですが、私ももっと挑戦して失敗すればよかったとも思います。これぞ失敗というのはありません
が、ディスカッションの授業でよく予習をしてこないで当たり前のことしか言えなかったことはどの授業にも
言える失敗です。教科書を読むなど予習する癖はつけておいた方が良いでしょう。

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

免疫力が下がったせいか喉が痛くなるが多かったです。一回インフルエンザに罹った時に保健センタ

一のようなところに行きました。予約しなくても使えます。混んでいましたが、留学前に入っていた保険を提示して無料で診察してもらい証明書などももらいました。薬も安く売れていましたが、効果があったのか分かりません。

15. お世話になった方々

友達ができた授業はやっぱ単位が取れました。不安ばかりだった僕を助けてもらい感謝しています。同じ寮のMichealとChanden、りゅうとはいつも一緒につるんでいました。彼らがいてくれて思い出もたくさんできました。CWCイベントやカウンセラーの人とも相談やお話が出来て秋学期はお世話になりました。また、日本語クラブの学生や島大に留学していたTehyaさんにもお世話になりました。

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

冬休みに思い切って北米の鉄道の旅をしました。詳しくは体験記の12月のものを見てください。7万円でいわゆる乗り放題切符を買ってフロリダからバンクーバーまで行きました。また、学期中はUFのOutdoor tripというプランがあって、ジョージアへハイキングキャンプやサーフィンにもいきました。自分で交通手段などを考える必要がなくお金はかかりますが割安なのでお勧めです。スキーや登山などもあります。

17. 気候と服装について

思っていたより寒かったという印象でした。もちろん冬という冬はないですが、内陸なので日中の寒暖差が結構ありました。向こうの人は半袖半ズボンばかりですが、長ズボンや羽織るものを持って行った方が良いです。Tシャツはイベントに行けば無料で配っていたりします。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品、衣服、食品、薬、運転免許証等）

文房具などは日本のものの方が良いものが多いと思います。食品はわざわざ日本から持っていくのも大変ですが、ふりかけを持っていったことは良かったと思います。薬も自分は特に常用するものはないですが、頭痛薬や絆創膏など普段使う時があるものは持って行った方が良いです、いちいち買うのは面倒なので。免許証は国際免許を取っていきましたが、結局使いませんでした。友達のを少し運転させてもらったくらいです。借りようとしたんですがレンタカーも高いですし、手続きも複雑です。

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書、旅行案内書を含めて）

英語の辞書や単語帳は持って行った方が良くともいます。使い慣れたものの方が勉強しやすいです。日本語の本は図書館にあったので、それも読んだりしていました。旅行についての本などは特に役立ったものはありませんでした。

20. ホームステイの依頼方法

ホームステイはしていません。

21. 留学費用について

1) 旅費	(往) <u>13</u> 万円, (復) <u>15</u> 万円
2) 準備費用	<u>10</u> 万円
3) 大学へ納入する費用	<u>70</u> 万円
授業料 (年間合計)	<u>50</u> 万円
保険等その他の費用	<u>20</u> 万円
4) 住居費 (光熱費等含む)	<u>100</u> 万円
5) 衣服代, その他雑費	<u>10</u> 万円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等	<u>5</u> 万円
7) 留学先国内旅行費用	<u>20</u> 万円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額	<u>313</u> 万円
現地通貨 <u>1</u> ドル 日本円換算 (レート) <u>約150</u> 円	

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

スーツケースと登山リュックに詰め込みました。国際郵送も出来ますが、高いのでしなかったです。持って帰れないものは寄付することができるので、冷蔵庫や遊び道具などは友達に渡したり、寄付したりしました。

23. 留学して得たこと (全般についての感想文)

この留学は自分の人生の中で最も大きなイベントであったことは間違いないです。楽しかったこと以上に、辛かったこと、悔しかったこと、たくさんありますが、留学に行って本当に良かったと思います。こうして今、島根に戻ってみると地球の反対側で9か月間、生活していたことが嘘のようです。1年前、アメリカに渡った時の自分を今でも鮮明に覚えています。右も左もわからず、夏のアメリカの、その熱気とパワーにただただ圧倒されていました。なんとかそれに抗おうともがいていたと思います。たくさんの人に出会い、世界の大きさを実感しました。そしてもう四年生なので、進路を考えなければなりません。留学したら自分のやりたいことが必ず見つかるとは言えませんが、この経験を糧に次のステップに進んでいこうと思います。